

日本と西洋の
美術文化
～それぞれのよさや
美しさを味わおう～

【学習の目標】

知

形や色彩、構図などに着目し、作風や印象などを捉える。

思

日本と西洋の美術作品の表現の意図や工夫から、西洋の美術作品が日本の美術作品から受けた影響について考え、鑑賞する。

主

日本と西洋の美術作品の表現のよさや美しさ、美術文化などに関心をもち、意欲的に鑑賞に取り組む。

第一次

めあて：日本と西洋の美術作品を比べながら鑑賞し、それぞれの美術作品の特徴を探ろう。

1. 二つの美術作品を比べて、色彩、形、構図などの表し方に着目して、それぞれの美術作品の特徴とそこから感じたことを書きましょう。（知、思）

作品名	「神田明神曙之景」	「ミッデルハルニスの並木道」
特徴		
特徴から 感じたこと		

色彩

形

構図

それぞれの美術作品のよさや美しさとはどのようなところですか。考えたことを書きましょう。

【いつでも確認できる資料】 ※作品をもっと味わいたいときに参考にしてみよう	○前時の学習の資料	Google classroom→「美術9年」→「鑑賞01_美術の学習」
	○教科書	p. 、p. 、p.
	○資料集	p.
	○歴史の教科書	p.

第二次

めあて：日本と西洋の美術作品を比べながら鑑賞し、西洋の美術作品が日本の美術作品から受けた影響について探り、それぞれのよさや美しさを味わおう。

2. 二つの美術作品を比べて、相違点や共通点について書きましょう。（知、思）
※色ペンでメモしましょう。青：話合いを通して自分が気付かなかった友達の考え
赤：友達の意見を聞くなどして新たに思い付いた自分の考え

作品名	「神田明神曙之景」	「陽を浴びるポプラ並木」
相違点	・「陽を浴びるポプラ並木」と比べて、	・「神田明神曙之景」と比べて、
共通点		

西洋の美術作品のよさや美しさを残したところは、

日本の美術作品のよさや美しさから影響を受けたところは、

3. これまでの学習を基に、日本と西洋の美術作品のそれぞれのよさや美しさ、美術文化について、考えたことを書きましょう。（思）

【これまでの学習を通して、学習を振り返ろう】
これまでの学習を通して、なるほどと思ったことや、もっと知りたいと思ったこと

日本と西洋の美術文化 ～それぞれのよさや美しさを味わおう～

【学習の目標】

- 知** 形や色彩、構図などに着目し、作風や印象などを捉える。
- 思** 日本と西洋の美術作品の表現の意図や工夫から、西洋の美術作品が日本の美術作品から受けた影響について考え、鑑賞する。
- 主** 日本と西洋の美術作品の表現のよさや美しさ、美術文化などに関心をもち、意欲的に鑑賞に取り組む。

第一次

めあて：日本と西洋の美術作品を比べながら鑑賞し、それぞれの美術作品の特徴を探ろう。

1. 二つの美術作品を比べて、色彩、形、構図などの表し方に着目して、それぞれの美術作品の特徴とそこから感じたことを書きましょう。（**知**、**思**）

作品名	「神田明神曙之景」	「ミッデルハルニスの並木道」
特徴	【Bと判断される記述例】 ・使われている色が少ない。 ・赤い色が鮮やか。 ・形がぺたっとしている。 ・かげがない。 ・手前の木が大きく目立つ。 ・木が画面からはみ出している。 …など	【Bと判断される記述例】 ・空や雲の色が明るい。 ・使われている色が多い。 ・木や道、人は見たままの形。 ・かげがある。 ・手前の木が大きく、奥の木が小さい。 ・道が奥に向かってだんだん狭い。 …など
特徴から感じたこと	【Bと判断される記述例】 ・ものが重なっているから遠近感がある。 ・かげがないから、立体感がない。 ・空の赤が鮮やかだから、夕方か朝のような感じがする。 ・和風。日本の作品のよう。 …など	【Bと判断される記述例】 ・道がだんだん狭くなっているから遠近感がある。 ・かげがあるから立体感がある。 ・空や雲の色が明るいから、晴れている感じがする。 …など

グループでの話し合いや学級全体での共有を経てまとめたそれぞれの美術作品の表現の特質についてこの欄に記録することで、それぞれの美術作品のよさや美しさについて自分の考えをもつことができるようにしたり、第二次の学習につなげたりします。

それぞれの作品のよさや美しさとはどのようなところでしょうか。考えたことを書きましょう。

【Bと判断される記述例】
西洋の美術作品のよさや美しさは、透視図法を使って奥行きを出すことで、リアルさを出しているところだと思う。
日本の美術作品のよさや美しさは、画面からはみ出したりものを重ねたりすることで、西洋の美術作品とは違った奥行きになっているところだと思う。
私は西洋の美術作品の表現の方が好きだが、日本の美術作品の表現もよいと思う。

※基本的に3の記述から評価を行います
場合によっては1、2の記述を補助的に用いて評価を行います。

【主体的に学習に取り組む態度】

※評価に当たっては、主に授業中の活動の様子から評価し、第一次と第二次の評価を総括します。本題材においては活動の様子に加えて、授業終了後に生徒のワークシートに記入された内容からも生徒の取り組む姿をワークシート全体を対象として読み取り、第一次と第二次で総括した評価に加えることもあります。

○主体的に作品を鑑賞し、形や色彩などが感情にもたらす効果、構図などを基に、作品の印象を全体のイメージや作風などで捉えることを理解しようとし、日本と西洋の美術作品の造形的なよさや美しさを感じ取ろうとしたり、表現の意図と創造的な工夫やそれぞれの美術文化などについて考えようとしていたりしているかを評価します。

第二次

めあて：日本と西洋の美術作品を比べながら鑑賞し、西洋の美術作品が日本の美術作品から受けた影響について探り、それぞれのよさや美しさを味わおう。

2. 二つの美術作品を比べて、相違点や共通点について書きましょう。（**知**、**思**）
- ※色ペンでメモしましょう。青：話し合いを通して自分が気付かなかった友達の考え
赤：友達の意見を聞くなどして新たに思い付いた自分の考え

作品名	「神田明神曙之景」	「陽を浴びるポプラ並木」
相違点	・「陽を浴びるポプラ並木」と比べて、 【Bと判断される記述例】 ・はっきりした濃い色。色の数が少ない。 ・形がはっきりしていて、 <u>平面的</u> 。 ・かげがない。 ・和風。日本の作品のよう。 …など	・「神田明神曙之景」と比べて、 【Bと判断される記述例】 ・淡く明るい色。色の数が多い。 ・形がぼんやりしていて、 <u>平面的</u> 。 ・かげがある。 …など
共通点	【Bと判断される記述例】 ・どちらも木が3本ある。 ・木が画面からはみ出している。 <u>大胆な構図</u> 。 ・どちらも木の奥に風景が見える。 <u>手前が大きく、奥が小さい</u> 。 …など	…など

記録に残す評価

【知識】 ※下線は【共通事項】を理解していると判断できる箇所

○形や色彩などが感情にもたらす効果、構図などを基に、作品の印象を全体のイメージや作風などで捉えることを理解しているかを評価します。

西洋の美術作品のよさや美しさを残したところは、

【Bと判断される記述例】
・見たままのものを描いているところ。
・多くの色が使われているところ。
・かげがあるようでないところ。
…など

日本の美術作品のよさや美しさから影響を受けたところは、

【Bと判断される記述例】
・大胆な構図。
・形が平面的なところ。
…など

3. これまでの学習を基に、日本と西洋の美術作品のそれぞれのよさや美しさ、美術文化について、考えたことを書きましょう。（**思**）

【Bと判断される記述例】
日本の美術作品のよさは、大胆な構図だと思った。西洋の美術作品のよさはリアルな色や形だと思ったが、日本の美術作品の影響を受けて変わった西洋の美術作品も、色がきれいでよさがあると思う。
学習を通して、日本の美術作品から西洋の美術作品が影響を受けていたことが分かり、すごいと思った。

記録に残す評価

【思考・判断・表現】

○日本と西洋の美術作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、表現の意図と創造的な工夫、美術文化などについて考えて、美意識を高め、見方や感じ方を深めているかを評価します。

【これまでの学習を通して、学習を振り返ろう】

これまでの学習を通して、なるほどと思ったことや、もっと知りたいと思ったこと

【Bと判断される記述例】
○○さんの「今日鑑賞した西洋の美術作品と日本の美術作品は似ているところがあるけれど、伝統的な西洋の美術作品の特徴も残っている」という考えを聞いて、自分が気付かなかった考えに気付くことができた。
ジャポニスムの作品には、ほかにどのような作品があるのかをもっと知りたい。